山形県総合政策審議会
第２回人づくり・暮らし政策研究会
（参考資料③）

高齢社会共創センター
リビングラボ事業

2019年10月17日

ニッセイ基礎研究所　前田展弘
（東京大学高齢社会総合研究機構）

■高齢社会共創センターの全体概要

高齢社会共創センター　・・・IOG　とともに高齢化課題解決を推進する**アクション・リサーチ・プラットフォーム**拠点

長寿社会に必要な“新しい価値”を　民　産　官　学　で共創する！

コミュニティの高齢化課題解決に向けた
共創拠点

■名称：**一般社団法人 高齢社会共創センター**

■創設年月：2017年４月

■所在地：東京都文京区弥生２－11－16 東京大学工学部９号館総合研究機構内

■センター長（代表理事）
秋山弘子（IOG特任教授）
※顧問・理事・監事　18名

http://www.cc-aa.or.jp/

■JST/RISTEX
研究開発成果実装支援プログラム【成果統合型】
「高齢社会課題解決に向けた共創拠点の構築」プロジェクト
[実装代表者：辻哲夫（IOG特任教授）、2016.7～2019.3]より構築

共創事業
Citizen Centered Design
- **リビングラボ事業**
- 調査研究・コンサル事業

社会教育事業
- **高齢社会検定事業**

■ジェロントロジーの基礎知識を提供
合格者「高齢社会エキスパート」は2000名超に
（2013～高齢社会検定協会からの移行事業）

会員サービス事業
- **鎌倉リビングラボ実践**
- **会員限定セミナー**

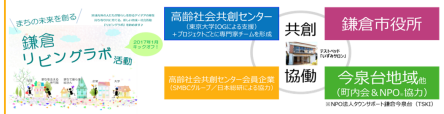
など

■**リビングラボ（Living Lab）**とは
特定の地域をベースに民産官学が共創する形で、まちづくり（地域が有する課題の解決等）や商品・サービス開発等を行う地域に常設された共創拠点

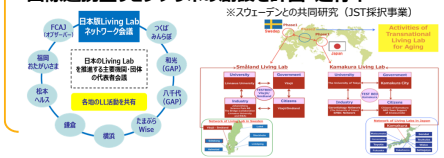
世界では欧州を中心に約400のリビングラボが存在　　**生活者（当事者）が企画段階から参加 新たなオープンイノベーションの場**

生活者（当事者）のニーズに基づき
より質の高い成果・解決策を提出

■**「鎌倉リビングラボ」を立ち上げ展開**
生活者ニーズ・自治体ニーズ・企業ニーズにもとづく各種プロジェクトを実施



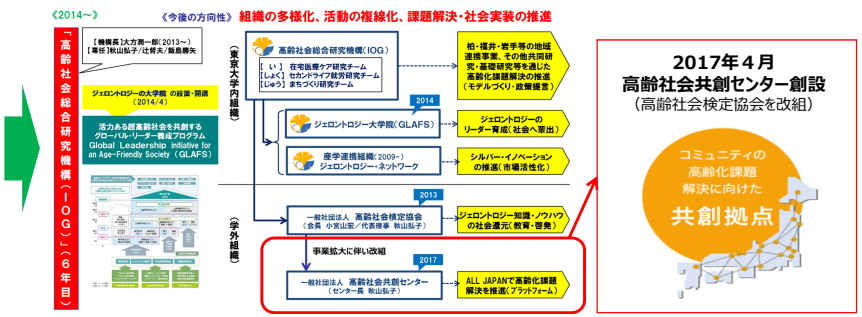
■**日本版リビングラボ・ネットワークの構築と国際連携型リビングラボの創設を計画・遂行中**
※スウェーデンとの共同研究（JST採択事業）



■高齢社会共創センター 役員（2019年度）

高齢社会共創センター		
顧問	小宮山 宏	東京大学 総長顧問（元総長）、三菱総合研究所 理事長
	石原 信雄	地方自治研究機構 会長、元内閣官房副長官
	大内 尉義	虎ノ門病院　院長
	大島 伸一	国立長寿医療研究センター 名誉総長
	筒井 義信	日本生命保険相互会社 代表取締役会長
	樋口 恵子	ＮＰＯ高齢社会をよくする女性の会　理事長
理事	秋山 弘子（センター長）	東京大学高齢社会総合研究機構　特任教授
	辻 哲夫	東京大学高齢社会総合研究機構　特任教授
	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構　教授
	秋下 雅弘	東京大学大学院医学系研究科 教授
	大月 敏雄	東京大学大学院工学系研究科 教授
	山本　則子	東京大学大学院医学系研究科　教授
	廣瀬　通孝	東京大学大学院情報理工学系研究科　教授
	鈴木 隆雄	桜美林大学　老年学総合研究所　所長
	袖井 孝子	お茶の水女子大学　名誉教授
	岡本 憲之	日本シンクタンクアカデミー 理事長
	堀　雅文	一般財団法人 総合研究奨励会 理事
監事	伊福部 達	東京大学　名誉教授
	牧野 篤	東京大学大学院教育学研究科 教授
	※順不同、敬称略	（計19名）

■東京大学高齢社会総合研究機構（IOG）との関係



■2019年度共創センター　リビングラボ研究交流会

高齢社会共創センター
Co-Creation Center for Active Aging

登録メンバー　**約200社・団体（自治体含む）500名**　※紹介・事前登録制
・日本では萌芽期にあるリビングラボについて、多様な参加者が学び合い、交流する場
・オープンイノベーションに向けた取組や手法についてディスカッションできる場

①**国内外のリビングラボ**に関する情報提供
– 活動実践者からの報告等
②**地域課題解決**に関する情報提供
– 有効なまちづくり方策の事例報告等
③**シルバー・イノベーション**に関する情報提供
– 企業の取組事例等
④**オープンイノベーションプラットフォーム**としての機能
– 共創プロジェクト提案等

高齢社会共創センター会員がプレゼンテーションをする等、仲間づくりのきっかけを提供

1．リビングラボとは・・・ リビングラボの共創サイクル

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

企画する
アイデアや技術を持ち寄り、創り出したいサービスやものを考える。

かたちにする
アイデアをもとに試作品をつくり、試しながら意見を出す。

企業・行政主導のサービス・ものづくりから
生活者中心のサービス・ものづくりへ

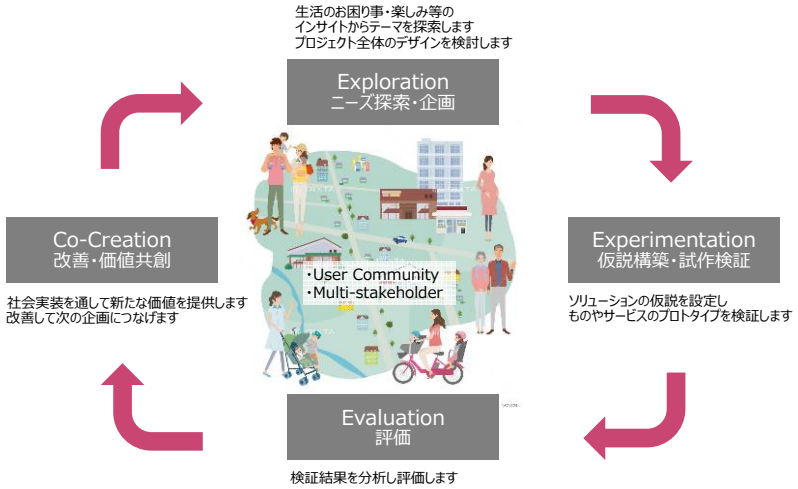
より良くする
テスト結果をふまえて内容や使い方などの改善点を洗い出す。

使ってみる
地域やご自宅で実際に使ってみながら生活に役立つかをテストする。

POINT！
舞台は生活の現場
主役は住民
生活の困り事やアイデアから出発
繰り返し改善する
多彩な参加者
（産官学民）

■リビングラボー共創サイクル

高齢社会共創センター
Co-Creation Center for Active Aging

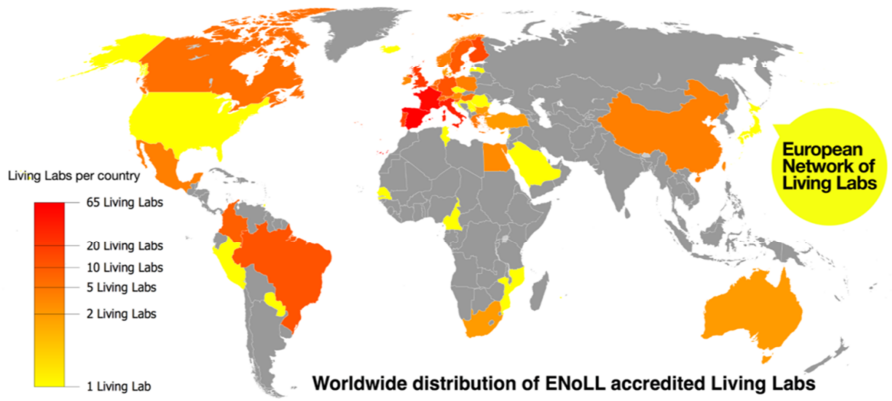


- 共創サイクルを繰り返し行い、よりよいもの・サービスを創出します
- 共創サイクルの各プロセスにおいてPDCAサイクルが循環します
- 各プロセスを行きつ戻りつしながら進行します

1．リビングラボとは・・・世界に拡がるリビングラボ

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

約400のLLが世界で展開



1．リビングラボとは･･･全国に拡大するリビングラボ

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

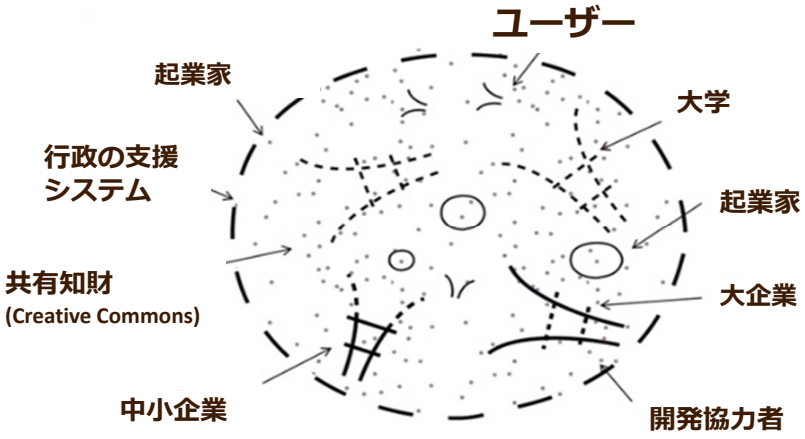
＜日本のLiving Lab的活動組織等（2018.４現在　※一部を記載）＞

- 山形　鶴巻リビングラボ（経産省PJ）
- 松本市「松本ヘルスラボ」（SCORP他）
- 福岡市「おたがいさまコミュニティ」（NPO-AABC他）
- 徳島県「こまつしまりリビングラボ」（徳島大学）
- 鎌倉市「鎌倉リビングラボ」（高齢社会共創センター他）
- 三浦市「リビングラボ」（神奈川県立保健福祉大学他）
- 神奈川県「ME-BYOリビングラボ」実証事業
- 仙台市「仙台フィンランド健康福祉センターPJ」
- つくば市「みんらぼ」（筑波大学他）
- 所沢リビングラボ（経産省PJ）
- 和光市「ギャップシニアコンソーシアム」（ダスキン他）
- 八千代市「ギャップシニアコンソーシアム」（ハウス食品他）
- 文京区「本郷リビングラボ」（東京大学他）
- 川崎リビングラボ（経産省PJ）
- 横浜市（たまプラーザ）「WISEラボ」（東急他）
- 横浜市栄区「リビングラボ」（東急他）
- 横浜市戸塚区「リビングラボ」
- 横浜コミュニティデザインラボ

ここ数年で30以上に
増加・拡大中

1．リビングラボとは･･･目指すOpen Innovation の場

鎌倉リビングラボ Open Lab Day



Sources: Open Innovation Yearbook 2016 - European Commission - EN p16 Figure 1: OI2 — a new milieuを翻訳
https://ec.europa.eu/digital-single-market/en/news/open-innovation-20-yearbook-edition-2016

1．リビングラボとは･･･リビングラボの体制

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

全体コーディネート
知見提供と分析評価
アクション･リサーチ、エビデンス

共創活動の調整･後方支援
地域活性化･地域の質向上

商品サービス開発
新たな開発視点･CSV※
※Creating Shared Value：共通価値の創造

意見･評価･アイディア
社会貢献･新たな収入源

高齢社会共創センター
Co-Creation Center for Active Aging

まちの未来を創る

地域内外の人たちが暮らしを彩るアイデアの種を
持ち寄り共に育てる、新しい地域・社会活動
『リビングラボ』を始めます♪

鎌倉 リビングラボ活動

2017年1月
キックオフ！

鎌倉リビングラボーテストコミュニティ

高齢社会共創センター
Co-Creation Center for Active Aging

出典：NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台HP

鎌倉市今泉台地区

- 昭和40年代に開発された丘陵地の戸建ニュータウン
- ゴルフ場やハイキングコースに囲まれた緑豊かな環境
- 住民の大多数が元サラリーマン・専業主婦の夫婦世帯
- 社会問題に関心が高く、地域活動が盛んな地域
- 最寄駅までは20分、急坂（北鎌倉駅）かバス（大船駅）
- 2015年NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台設立

<今泉台地域基礎データ（2018.6）>
■人口　　：5013人
■世帯数　：2001世帯
■高齢化率：45.2%
（75歳以上は 29.7%）

1．リビングラボとは・・・鎌倉リビングラボの推進体制

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

高齢社会共創センター
（東京大学IOGとの共同研究）
＋プロジェクトごとに専門家チームを形成

共創

鎌倉市役所

テストベッド
「いずみサロン」

高齢社会共創センター会員企業
（SMBCグループ／日本総研による協力）

協働

今泉台地域他
（町内会＆NPO※協力）

※NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台（TSKI）

<今泉台地域基礎データ（2018.6）>
■人口　　：5013人
■世帯数　：2001世帯
■高齢化率：45.2%
（75歳以上は 29.7%）

1．リビングラボとは・・・鎌倉リビングラボの活動拠点

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

2．活動報告・・・2017.1.22オープニングイベント

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

2．活動報告・・・鎌倉市プレスリリース

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

記者発表資料　発表日：2017年1月30日

日本とスウェーデンの共同研究による「鎌倉リビング・ラボ」の取組がスタート

このたび、今泉台町内会（NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台）、東京大学高齢社会総合研究機構、三井住友フィナンシャルグループ等、及び鎌倉市が連携し、日本で初めての本格的な取組となる「鎌倉リビング・ラボ」をスタートしましたので、お知らせします。

この取組は、主にヨーロッパ圏で広まってきたリビング・ラボが、アジア圏との連携を図るに当たり、長寿社会のまちづくりに取り組んできた鎌倉市今泉台がその窓口としての役割を果たそうとするものです。

（写真右から、NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台丸尾理事長、今泉台町内田島会長、鎌倉市松尾市長、東京大学秋山特任教授、三井住友銀行法人戦略部松本部長 ）

2．活動報告・・・事業モデル

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

【共創Ｃとしての目的】 2017-18年度（２年間）を目処に、次のA～Cの共創活動を実践し、具体成果を創出しながら、当該活動の機序（メカニズム）及び事業構造を確立すること
（＝日本版リビングラボ活動・事業のモデルの構築）

A・・・【共創Ｃ主導】 ⇒ご関心をもたれた皆様と共創チームを形成したい

住民課題にもとづく・・・「長寿社会にふさわしいワークスタイルと住宅・地域環境の開発」

B・・・【共創Ｃ主導】 ⇒ご関心をもたれた皆様と共創チームを形成したい

自治体課題にもとづく・・・「IoTを利活用した鎌倉観光の複線化とシニア活躍事業の開発」

C・・・法人会員の皆様からの提案を受けて活動（提案を受けて共創Ｃがコーディネート）

企業課題にもとづく・・・「新たな長寿社会向け商品サービス開発（複数）」

2．活動報告・・・事業モデルA（住民課題発）

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

A・・・【共創Ｃ主導】 ⇒ご関心をもたれた皆様と共創チームを形成したい

住民課題にもとづく・・・「長寿社会にふさわしいワークスタイルと住宅・地域環境の開発」

2017.3 座談会「在宅ワーク環境と家具」・シニア男性・リタイア前男女・子育てママ

ホームオフィス編

- 2017.7.1 WS① キーワード抽出
- 2017.9.17 WS② ペルソナ作成
- 2017.12.3 WS③ CG/モックアップ評価
- 2018.4 WS④ プロトタイプ評価
- 専門家・ユーザー評価を経て商品化

サテライトオフィス編

- 2017.8.8 事例調査・視察①
- 2017.9.8 事例調査・視察②
- 2018.2.8 子育てママヒアリング
- 2018.3以降 子育てママヒアリング 第2弾＆他地域展開
- サテライトオフィスのコンテンツ検討

リビングラボの共創プロセスCase1

高齢社会共創センター Co-Creation Center for Active Aging

※リビングラボの活動や手法は多様です。事例は一例です。案件ごとに柔軟にアレンジいたします。

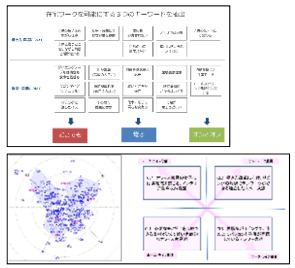
人生100年時代のワークスタイル・ホームオフィス編

①テーマ応じたリクルーティング

②FGI（テーマ・ターゲット絞り込み）

③ニーズ深堀

④分析・キーワードと主要ペルソナの抽出
専門家・運営側による仮説構築



⑧各種イベント等への露出
・スウェーデン国王夫妻視察
・鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会

⑥試作品検証

⑤モックアップ検証

⑦Home Use Test

プロダクツの発売（2019年7月予定）

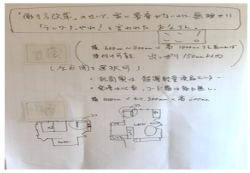
2．活動報告･･･ホームオフィス編

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

子育てママさん、リタイア男性、
リタイア前の男女の3グループに
在宅ワークについてインタビュー実施。
世代・性別等により、自宅で働くこと
への考え方が大きく異なった！

2．活動報告･･･ホームオフィス編

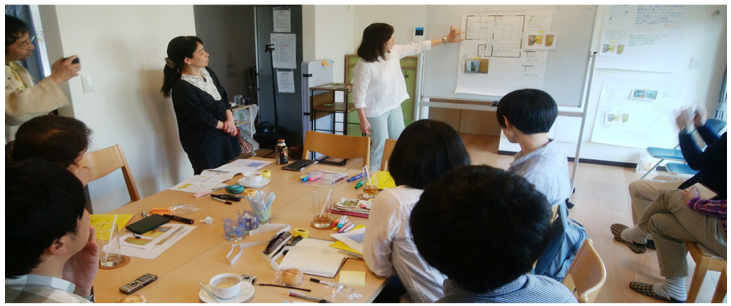
鎌倉リビングラボ Open Lab Day

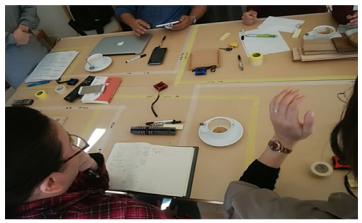


みんなで
意見出し

2．活動報告･･･ホームオフィス編

鎌倉リビングラボ Open Lab Day



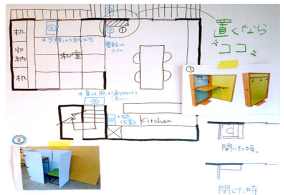


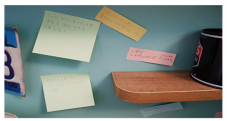
サイズ測定

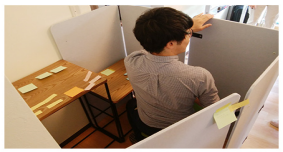
2．活動報告･･･ホームオフィス編

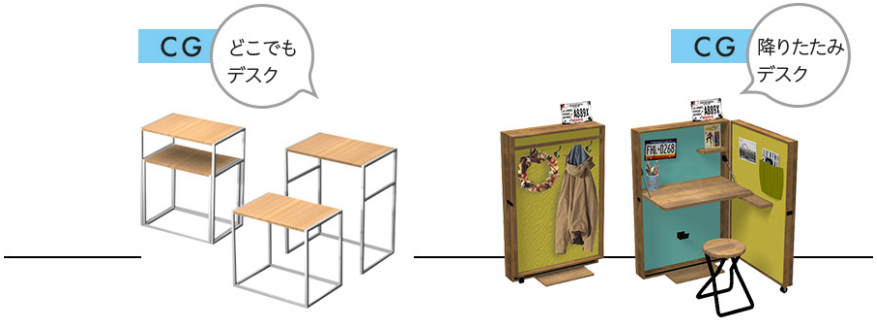
鎌倉リビングラボ Open Lab Day

理想の
環境って？









2．活動報告・・・ホームオフィス編
鎌倉リビングラボ Open Lab Day

空間を作る、ONOFF（オノフ）。

仕事（ON）と生活（OFF）の切替えがしやすい、テレワーク家具です。

2．活動報告・・・ホームオフィス編
鎌倉リビングラボ Open Lab Day

ON
小さな部屋

OFF
すっきりたためる

2．活動報告・・・ホームオフィス編
鎌倉リビングラボ Open Lab Day

2．活動報告・・・事業モデルA（住民課題発）

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

A ・・・【共創Ｃ主導】 ⇒ご関心をもたれた皆様と共創チームを形成したい

住民課題にもとづく・・・「長寿社会にふさわしいワークスタイルと住宅・地域環境の開発」

2017.3
座談会
「在宅ワーク環境と家具」
・シニア男性
・リタイア前男女
・子育てママ

ホームオフィス編

2017.7.1 WS① キーワード抽出 → 2017.9.17 WS② ペルソナ作成 → 2017.12.3 WS③ CG/モックアップ評価 → 2018.4 WS④ プロトタイプ評価 → 専門家・ユーザー評価を経て商品化

サテライトオフィス編

2017.8.8 事例調査・視察① → 2017.9.8 事例調査・視察② → 2018.2.8 子育てママヒアリング → 2018.3以降 子育てママヒアリング 第2弾＆他地域展開 → サテライトオフィスのコンテンツ検討

2．活動報告・・・サテライトオフィス編

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

推進メンバーで鎌倉近郊のコワーキングプレイスを視察。アクセスが便利であること、利用者同士が交流できる仕組み、集うことで新しい仕事が生まれることが重要であることが分かりました。

2．活動報告・・・サテライトオフィス編

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

子育てのため離職中のママさんたち12名に、子連れOK、職住近接、趣味を仕事に…等の事例を交えてインタビュー。
こんな働き方だったらすぐにでも働きたいという声も！！

3 ママカフェやコミュニティビジネスを行うコワーキングスペース

席　料　：ワーカー負担有り/無し、カフェ料金

仕事提供：運営スタッフ
　　仕事紹介あり（①、②のワーク）

仕事内容：コワーキングスペース・カフェのスタッフ
　　コミュニティビジネス※
　　①・②のワーク

託　児　：あり/なし　（両方）

こまちぷらす
カフェ、セミナー・講座、地域情報発信

3

チルドリンカフェ@松の葉は、パン屋さん、ママサロン「アトリエ＊チルドリン」、預かり合いの3つの機能。
ママイベント、ママネットワーク、モニター
講座・イベント（手芸、カウンセリング、ヨガ、）

2．活動報告・・・事業モデルC（企業課題発）

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

C ・・・法人会員の皆様からの提案を受けて活動（提案を受けて共創Ｃがコーディネート）

企業課題にもとづく・・・「新たな長寿社会向け商品サービス開発（複数）」

（2016年度）関心を持たれた企業のお試しの場として開放
- ①医薬品パッケージ（欧米→アジア市場）
- ②高齢女性向けヘアケア商品　③高齢者見守りタブレット

（2017年度）会員企業と継続的に実施
- ④新コンセプトの小型モビリティ　⑤金融パンフレットデザイン
- ⑥ヘルス系インテリア

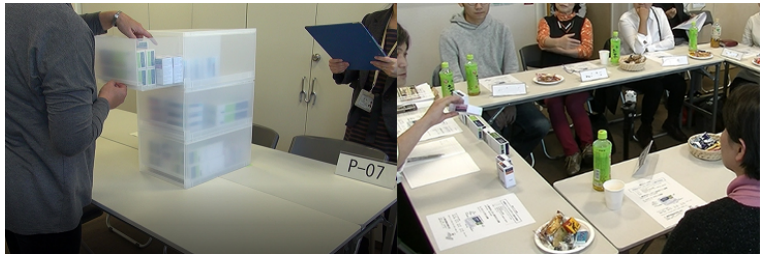
（2018年度～）
- ⑦家電メーカー 「シニア向けIoT新価値創造」PJ
- ⑧家電メーカー 「人生100年時代の食とキッチン」PJ

＜企画調整中＞
- ⑨食品メーカー 「シニアの健康ニーズ探究（仮）」PJ
- ⑩飲料メーカー 「シニアの飲料モチベーション探究（仮）」PJ
- ⑪家電メーカー 「シニアの困りごと探究（仮）」PJ

２．活動報告・・・医薬品パッケージ

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

・2016年11月12，13日＠町内会館2階、大船の貸会議室
・ベルギーのリビングラボ（大手医薬品メーカー）からの依頼
・欧州市場からアジア市場展開を狙ったテスト
・一般15名/薬剤師・看護師15名
・薬の取り出しテストと座談会
・ベルギーのリビングラボで分析
・地域による法制度、取扱い方法の違い、色に対する認識の差が判明



２．活動報告・・・シニア女性向けヘアケア商品

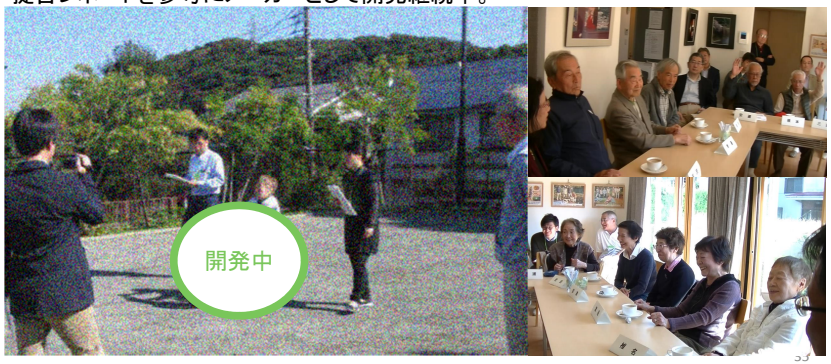
鎌倉リビングラボ Open Lab Day

・2017年2月27、28日＠ご自宅、いずみサロン
・60歳以上の女性17名
・2種類のサンプルを2週間使用後、アンケートと座談会
・座談会でお話した内容
　①日頃のケア②入浴時の習慣③サンプルの感想⑤生活習慣（買い物など）
・当日うっかり忘れていた方もいた。以降は直前の電話連絡を必ず入れるように。
・発売後に知らせてほしいという声があったが、薬事法の規制があり実現せず。

２．活動報告・・・新コンセプトの小型モビリティ

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

・2017年10月27日＠吉が沢公園、いずみサロン
・70歳以上の男女各5名。
・新型モビリティ試乗後、インタビューと座談会
・一番多かった意見「自分にはまだ早い」
・乗り心地や機能面といったモビリティそのものの話ばかりではなく、
　坂道ではどうか？バスには乗れるのか？街中で邪魔ではないか？と
　生活の中で使うことを考慮した発言が目立った。
・提言レポートを参考にメーカーとして開発継続中。



２．活動報告・・・ヘルス系インテリア

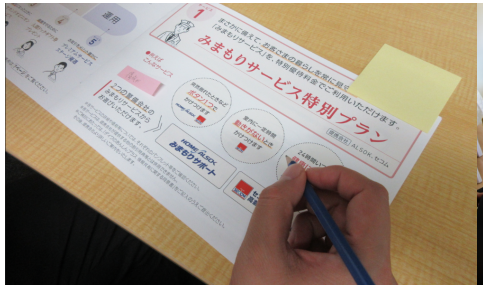
鎌倉リビングラボ Open Lab Day

・2017年12月14日＠町内会館1階、いずみサロン
・60代男女８名、70代男女８名
・ 新しいアプローチで大手電機メーカーが試作したをテスト
・食生活に関するインタビューも同時実施
・食事・健康管理に対する意識の男女差、
　シニアは和食、和室というステレオタイプが間違いであることを実感。
・コンセプト設計まで立ち返り、再スタート中。

2．活動報告・・・金融サービスパンフレット

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

・2018年2月7日＠いずみサロン
・70代の男女12名、80代の男女12名。
・事前課題：金融サービスのパンフレットに目を通していただいたく。
・見やすいか？分かりやすいか？という観点から座談会を実施。
・プロがシニア向けに見やすくデザインしているものであっても、
　注意書きの字が小さすぎる、横文字が多くて読む気にならない等々の声が続出。
・更に、こんなサービスはいらない、このサービスはいいかも等内容にまで言及。
・見やすさはもちろん、サービス内容も見直した上で改訂中。



2．活動報告・・・参加者の声

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

■住民の声
・自分の声が製品に活かされる！
・改めて自分が大切にしていることが何かを見つめなおせた
・普段何気なく生活していて意識していなかった
　自分のやりたいことや大切にしている価値観を
　改めて見つめなおすきっかけになった。
・いろんな職業や立ち場・年齢の方とお話して、
　視野が広がりいい刺激になった。
・顔見知り程度だった方が、多彩だったことを発見。
　まちでお会いしたら話しかけてみようと思います。
・自分の声がどういう風に活かされるのか知りたい。
■企業の声
・生活者のリアルな生の声を聞くことができた。
・ユーザーと一緒につくり上げる作業が楽しい。
・自分たちがつくった仮説が完全に覆ったのが驚きだった。
■行政の声
・行政施策と重なる部分がある。
・郊外団地など地域活性化のモデルとして他地域に
　展開できることを期待。

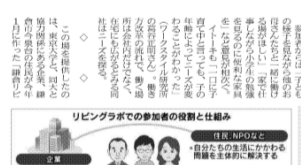
また参加したい！

ムダなものをつくらずにすんだ！

他地域に波及させたい！

2．活動報告・・・メディア掲載

鎌倉リビングラボ Open Lab Day



街づくり・商品開発 生活者と一緒に「研究」

知っている？

リビングラボ

当事者意識 どう高める

ニーズ 的確に探る

2017年4月4日
日経新聞夕刊

2．活動報告・・・メディア掲載

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

リビングラボ 広がる試み

商品開発・実験 産学官＋住民で

高齢者巻き込み 孤立防止期待も

医療機器研究 信大など取り組み

2018年6月9日共同通信社配信、地方紙6紙で取り上げられる

３．参加するには？・・・参加するメリットと登録モニター制度

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

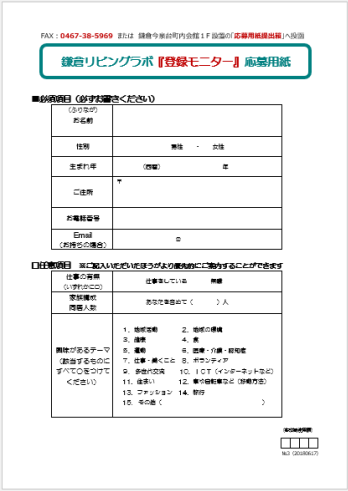
参加するメリット

・収入が得られる
・新しいアイデアや最先端の技術に触れられる
・自分の声が活かされる実感が得られる
・社会に貢献できる

参加方法

案件ごとにポスターを掲示。
募集チラシ（町内会館、いずみサロンに設置）に記載の上、FAXか町内会館にある専用BOXに投函

登録モニターになっていただくと
関心や条件の当てはまるテーマの時に
個別にお声がけをいたします！



FAX：0467-38-5969 または 鎌倉今泉台町内会館１Ｆ設置の「応募用紙提出箱」へ投函

鎌倉リビングラボ『登録モニター』応募用紙

■必須項目（必ずお書きください）

（ふりがな）お名前	
性別	男性 ・ 女性
生まれ年	（西暦） 年
ご住所	〒
お電話番号	
Email（お持ちの場合）	@

□任意項目 ※ご記入いただいたほうがより優先的にご案内することができます

仕事の有無（いずれかに○）	仕事をしている 無職
家族構成 同居人数	あなた本人を含めて（ ）人
興味があるテーマ（該当するものにすべてに○をつけてください）	1．地域活動 2．地域の環境 3．健康 4．食 5．運動 6．医療・介護・総合相談 7．仕事・働くこと 8．ボランティア 9．多世代交流 10．ＩＣＴ（インターネットなど） 11．住まい 12．車や自転車など（詳細方法） 13．ファッション 14．旅行 15．その他（ ）

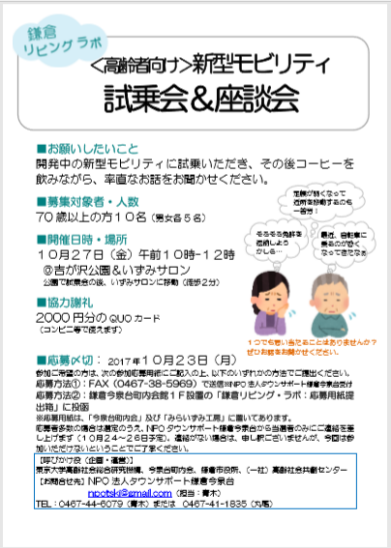
事務局使用 □□□ No. QS0806-01

応募用紙に基本情報を記入するだけ！

３．参加するには？・・・募集チラシとポスター例

鎌倉リビングラボ Open Lab Day

募集チラシ



鎌倉リビングラボ

<高齢者向け>新型モビリティ
試乗会＆座談会

■お願いしたいこと
開発中の新型モビリティに試乗いただき、その後コーヒーを飲みながら、率直なお話をお聞かせください。

■募集対象者・人数
70歳以上の方１０名（男女各５名）

■開催日時・場所
１０月２７日（金）午前１０時-１２時
◎吉が丘公園＆いずみサロン
公園で試乗会の後、いずみサロンに移動（徒歩２分）

■協力謝礼
2000円分のQUOカード
（コンビニ等で使えます）

■応募〆切：2017年１０月２３日（月）
参加ご希望の方は、次の参加応募用紙にご記入の上、以下のいずれかの方法でご提出ください。
応募方法①：FAX（0467-38-5969）で送信※NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台宛て
応募方法②：鎌倉今泉台町内会館１Ｆ設置の「鎌倉リビング・ラボ：応募用紙提出箱」に投函
※応募用紙は、「今泉台町内会」及び「みらいすみ工房」に置いてあります。
応募者多数の場合は選定のうえ、NPO タウンサポート鎌倉今泉台から当選者のみにご連絡を差し上げます（１０月２４～２６日予定）。連絡がない場合は、申し訳ございませんが、今回は参加いただけないということでご了承ください。

【問合せ先】
東京大学高齢社会総合研究機構、今泉台町内会、鎌倉市役所、（一社）高齢社会共創センター
【お問合せ先】NPO 法人タウンサポート鎌倉今泉台
nootshi@gmail.com（担当：青木）
TEL：0467-44-6079（青木）または 0467-41-1835（丸尾）

ポスター

鎌倉リビングラボ

今回のテーマ
健康管理が楽しくなる！開発中の未来家電
「ヘルス系インテリア」評価会

12月14日（木）
① 9:40～10:40／②11:00～12:00
③13:00～14:00／④14:20～15:20
※①～④のいずれかの時間帯で1時間。
応募用紙に希望時間帯をご記入ください。

会場：町内会館
※一部、いずみサロンも利用

対象
60代・70代の男女 各8名
（計16名）

謝金
1,000円分のQuoカード

お願い
未来家電のデモンストレーションをご覧いただき、ご感想をお聞かせください。

ご参加は応募用紙をご記載の上、お申し込みください。
応募用紙は「今泉台町内会」及び「みらいすみ工房」に置いてあります。

お問合せ先：
NPO法人 タウンサポート鎌倉今泉台
E-mail：nootshi@gmail.com（担当：青木）
TEL：44-6079（青木）、41-1835（丸尾）
企画・運営：東京大学高齢社会総合研究機構、今泉台町内会、鎌倉市役所、一般社団法人高齢社会共創センター

2019年10月17日

ニッセイ基礎研究所　前田展弘
（東京大学高齢社会総合研究機構）